

令和2年度活動報告

令和２年４月 １日より

令和３年３月３１日まで

**Ⅰ概況**

令和２年１月から新型コロナウイルスが蔓延し、日常生活が一変してしまった。令和２年４、５月は、緊急事態宣言により、都心部の書店は売り上げが激減した一方、住宅地に近い書店では、巣ごもり需要により売り上げが伸びるなど、大混乱で年度が幕開けた。年間を通じては、鬼滅の刃ブームによるコミックの売り上げの増加が、雑誌等の売り上げ減をカバーしたこともあり、コロナにより壊滅的な影響を受けた飲食業や観光業等に比べられると、世間からは売り上げが絶好調であるかのように見られている。しかしその実態は、長年続く利益分配の不足に加え、キャッシュレスの推進により、書店の経営基盤の脆弱性は増し、事業継承が困難な状況が続いており、経営者の高齢化に伴い、店舗の閉店が相次ぎ、益々、先行きを見通せない状況になっている。

一部出版社では、電子出版部門等、紙以外の利益により業績が好調なところもあるが、コロナ渦において在宅ワークが進められ、注文に支障を来す状況が生じたり、様々な会合がキャンセルされたりと、書店とのコミュニケーションの場が失われており、紙を扱うリアル書店が減り続けていることへの危機感が共有されない状況にある。書店にとっては、業界システム改革の議論の場が奪われ、危機的な状況が高まったと言わざるを得ない。

2020年の出版市場（推定販売金額）は、紙の市場が前年比1.0％減少、電子出版が同28.0％増で、全体では前年比4.8％増の1兆6,168億円となり、全体の市場は2014年の電子出版統計開始以来、初めて前年を上回った昨年に引き続き、2年連続のプラスとなった。紙市場は1６年連続のマイナスとなり、書籍が前年比0.9％減、雑誌が同1.1％減となった。雑誌はコミックス（単行本）の同24.9％増により、減少幅が縮小した。電子市場はコミックが前年比31.9％増となり、電子書籍が同14.9％増、一方、電子雑誌はｄマガジンの会員数減少が続き、同15.4％減の3年連続減少となった。出版市場の電子出版の占有率は24.3％となり、前年の19.9％から更に上昇した。（（公社）全国出版協会・出版科学研究所発表）電子市場への移行が進み、収益を上げている出版社の戦略が今後どう変化していくのか、注視していかねばならない。

全国の書店数は12,281店で前年比2.7％減。東京都では前年比で40店舗減少し、1,408店となり、10年前からは30．5％（599店）減少し、1,967店となった。（一般社団法人日本出版インフラセンター　書店マスタ管理センター2021.4.21公開）この数字は、書店経営が事業継承に値しないことの現れであり、極めて深刻である。

我々青年部としては、今後も書店経営に携わる意思のある者として、よりよい業界のあり方について意見を発信し、未来の世代に出版文化を引き継げるよう、努力していく。

**Ⅱ　会員数の現況**

　令和３年３月３１日現在　　　　　　95名

**Ⅲ　会議等の開催の概要**

**１、　総会**

第３０回通常総会

　開催日　　　　　　令和２年７月９日（木）

　開催場所　　　　　東京都書店商業組合　会館３階会議室

【審議及び議決の内容】

第一号議案　平成３1年度活動報告承認の件（原案通り可決）

第二号議案　平成３1年度会計報告承認の件（原案通り可決）

　　　　　　　　　　会計監査報告

第三号議案　令和２年度活動計画決定の件（原案通り可決）

第四号議案　令和２年度収支予算決定の件（原案通り可決）

**２　、理事会**

**〇令和２年度第１回理事会**

　⇒緊急事態宣言により開催中止

**〇令和２年度第２回理事会**　令和２年５月２８日（木）書店組合三階会議室　出席8名

大和書店田中久会長、甲文堂書店越石副会長、椿書房田島副会長、小川書店小川理事、明昭館書店田中紀理事、野上書店野上理事、三陽堂書店萬納理事、新橋書店山辺理事

**議題**

1. 店頭活性化委員会（いーほん青年部、Ｊリサーチ、誠文堂新光社）
2. ＮＥＴ店頭連動委員会（アクセス数、アフィリエイト報告）
3. 書店再生委員会（コロナの影響、弘済会、小学館雑誌販売協力金）
4. 庶務委員会（決算、30周年行事、レクリエーション）
5. その他（レジ袋有料化）

**〇令和２年度第３回理事会**令和２年６月１４日（木）書店組合三階会議室　出席９名

大和書店田中久会長、甲文堂書店越石副会長、椿書房田島副会長、小川書店小川理事、ビーブックス平井理事、明昭館書店田中紀理事、野上書店野上理事、三陽堂書店萬納理事、新橋書店山辺理事

**議題**

1. 店頭活性化委員会（いーほん青年部、Jリサーチ）
2. ＮＥＴ店頭連動委員会（アクセス数、アフィリエイト報告）
3. 書店再生委員会（コロナの影響、弘済会、小学館雑誌定期協力金について）
4. 庶務委員会（総会、３０周年行事について）
5. その他（レジ袋有料化）

**〇令和２年度第４回理事会**　令和２年７月９日（木）書店組合三階会議室　出席８名

大和書店田中久会長、甲文堂書店越石副会長、椿書房田島副会長、小川書店小川理事、ビーブックス平井理事、明昭館書店田中紀理事、野上書店野上理事、三陽堂書店萬納理事

**議題**

1. 店頭活性化委員会（いーほん青年部）
2. ＮＥＴ店頭連動委員会（アクセス数、アフィリエイト報告）
3. 書店再生委員会（弘済会、小学館雑誌定期協力金について）
4. 庶務委員会（総会、３０周年行事について）
5. その他（総会準備、レジ袋有料化）

**〇令和２年度第５回理事会**　　令和２年８月７日（金）書店組合３階会議室　出席８名

大和書店田中久会長、甲文堂書店越石副会長、椿書房田島副会長、小川書店小川理事、ビーブックス平井理事、明昭館書店田中紀理事、野上書店野上理事、三陽堂書店萬納理事、暮しの手帖社　香川部長、関課長

**議題**

1. 店頭活性化委員会（いーほん青年部、Ｊリサーチ）
2. ＮＥＴ店頭連動委員会（アクセス数、アフィリエイト報告）
3. 書店再生委員会（弘済会、小学館雑誌定期協力金について）
4. 庶務委員会（神保町ＢＦ中止、３０周年行事について）
5. その他（レジ袋有料化、万引き）

**〇令和２年度第６回理事会**　　令和２年９月１０日（金）書店組合３階会議室　出席９名

大和書店田中久会長、甲文堂書店越石副会長、椿書房田島副会長、小川書店小川理事、ビーブックス平井理事、明昭館書店田中紀理事、野上書店野上理事、三陽堂書店萬納理事、新橋書店山辺理事

**議題**

1. 店頭活性化委員会（いーほん青年部）
2. NＥＴ店頭連動委員会（アクセス数、アフィリエイト終了、アプリ作成進捗）
3. 書店再生委員会（弘済会、小学館雑誌定期協力金、書店再生財団）
4. 庶務委員会（カレンダー販売、３０周年行事について）

**〇令和２年度第７回理事会**　令和２年１０月９日（金）書店組合３階会議室　出席８名

大和書店田中久会長、甲文堂書店越石副会長、小川書店小川理事、ビーブックス平井理事、明昭館書店田中紀理事、野上書店野上理事、三陽堂書店萬納理事、黒田書店黒田理事、新橋書店山辺理事

**議題**

1. 店頭活性化委員会（いーほん青年部）
2. ＮＥＴ店頭連動委員会（アクセス数、アフィリエイト中止、アプリ作成進捗）
3. 書店再生委員会（書店再生財団）
4. 庶務委員会（カレンダー販売、３０周年行事、弘済会反省）

**〇令和２年度第８回理事会**　　令和２年１１月１４日（木）書店組合３階会議室　出席９名

大和書店田中久会長、甲文堂書店越石副会長、椿書房田島副会長、小川書店小川理事、ビーブックス平井理事、明昭館書店田中紀理事、野上書店野上理事、三陽堂書店萬納理事、黒田書店黒田理事、Ｊリサーチ手塚様

**議題**

1. 店頭活性化委員会（いーほん青年部）
2. ＮＥＴ店頭連動委員会（アクセス数）
3. 書店再生委員会（書店再生財団）
4. 庶務委員会（新年会、カレンダー販売⇒中止、３０周年行事⇒延期）
5. その他（Jリサーチ来年度報奨企画）

**〇令和２年度第９回理事会**　　令和２年１２月１１日（金）書店組合３階会議室　出席９名

大和書店田中久会長、甲文堂書店越石副会長、椿書房田島副会長、小川書店小川理事、ビーブックス平井理事、明昭館書店田中紀理事、野上書店野上理事、三陽堂書店萬納理事、黒田書店黒田理事

**議題**

1. 店頭活性化委員会（広告入りポリ袋代替え案）
2. ＮＥＴ店頭連動委員会（アクセス数、アプリ作成進捗）
3. 書店再生委員会（書店再生財団）
4. 庶務委員会（新年会中止）

**〇令和２年度第１０回理事会**令和３年１月１５日（金） ZOOMリモート会議　出席６名

大和書店田中久会長、甲文堂書店越石副会長、椿書房田島副会長、小川書店小川理事、ビーブックス平井理事、三陽堂書店萬納理事

**議題**

1. 店頭活性化委員会（Ｊリサーチ）
2. ＮＥＴ店頭連動委員会（アクセス数、アプリ作成進捗）
3. 書店再生委員会（書店再生財団）
4. 庶務委員会（新年あいさつ）

**〇令和２第１１回理事会**　　令和３年２月１２日（金）　ZOOMリモート会議　出席８名

大和書店田中久会長、甲文堂書店越石副会長、椿書房田島副会長、小川書店小川理事、ビーブックス平井理事、明昭館書店田中紀理事、野上書店野上理事、三陽堂書店萬納理事

**議題**

1. 店頭活性化委員会（Ｊリサーチ）
2. ＮＥＴ店頭連動委員会（アクセス数、アプリ作成進捗）
3. 書店再生委員会（書店再生財団、弘済会、小学館雑誌定期販売協力金）
4. 庶務委員会（新年あいさつ）
5. その他（豊島支部講演会）

**Ⅳ　その他の主な活動**

**Ａ）青年部レクリエーション**

　本年度は新型コロナウイルスの影響で中止。

**Ｂ）神保町ブックフェスティバル**

　本年度は新型コロナウイルスの影響で中止

**Ｃ）新年懇親会**

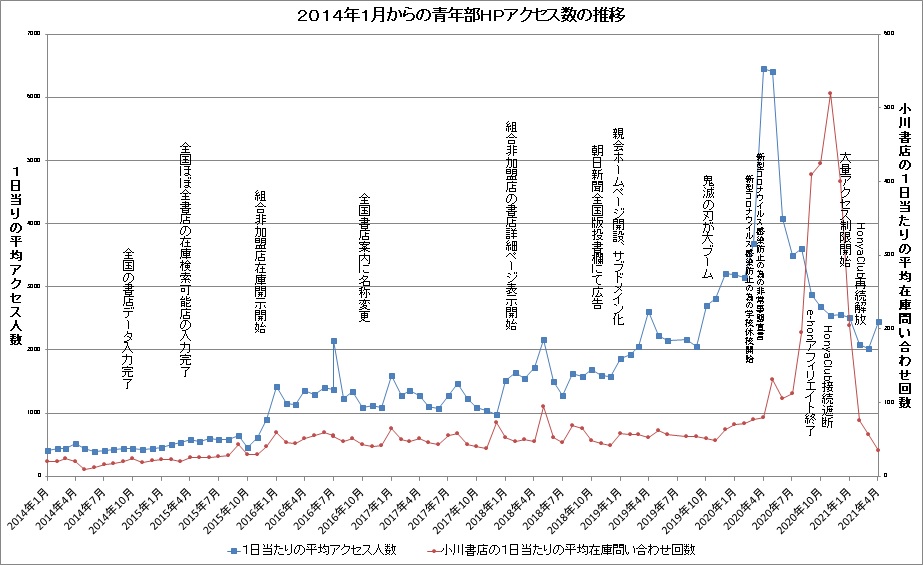
　本年度は新型コロナウイルスの影響で中止

**Ⅴ　委員会報告**

1. **ＮＥＴ店頭連動委員会**

青年部ホームページには令和２年度には下記の様なトピックがあった。

1. 令和２年４月　新型コロナウイルス非常事態宣言による巣篭り需要等を受けてアクセス数が激増。
2. 令和２年４月　全国書店再生支援財団より書店案内アプリに対する補助金６００万円が入金される。
3. 令和２年７月　東京都の補助金事業｢令和２年度 中小企業新戦略支援事業（団体向け）｣の＜特別支援「販路開拓モデル創出プロジェクト」＞に在庫検索アプリを応募するも落選。
4. 令和２年８月　小川書店の在庫検索回数が激増。
5. 令和２年９月１０日　株式会社ジェイピーとの間で書店案内アプリ開発についての契約を調印。開発費用は全国書店再生支援財団から入金された600万円（税込）。
6. 令和２年９月１８日　トーハンｅ－ｈｏｎとのアフィリエイト契約が終了。
7. 令和２年１１月　小川書店の在庫検索アクセスが最大となり1日平均520回を記録。
8. 令和２年１１月２４日　日販HonyaClubから在庫検索アクセスを遮断される。
9. 令和２年１２月～令和３年１月　店頭在庫検索の大量アクセスの調査と対策を行う。
10. 令和３年２月１０日　大量アクセス対策の効果が認められ、日販ＨｏｎｙａＣｌｕｂが在庫検索アクセスを解放。
11. 令和３年２月　googlemapのアクセス数が無料制限値を超えて使用料が引き落とされる。3月32,923円、4月31,213円！
12. 令和３年４月２２日 書店詳細ページの地図をgooglemapからフリーソフトのleaflet+国土地理院タイルを利用して修正。



令和２年度は令和元年１０月から始まったの鬼滅の刃ブームの効果と、令和２年３月からの新型コロナウイルスの流行により、極端にアクセス数が増加したが、令和３年２月には鬼滅の刃ブームの前に戻ってしまった。これは、令和２年８月から始まった大量の在庫検索アクセスによって１１月２４日に当サーバーからのアクセスを日販HonyaClubに遮断され、翌年２月１０日までの間1,738店中の491店もの店の在庫が見られなくなってしまったことが大きく影響している。また、この対策によって、地図画面で色々な本の店頭在庫検索を繰り返し、スクリーンショットを使ってメモをして行く様な利用が制限値にかかって出来なくなってしまったことも影響していると見られる。但し、こういった利用は転売目的と思われるので読みたい本を探している読者には影響がないと考えている。

下記に店頭在庫検索の大量アクセス対策の内容を記す。

**2020年12月20日：**

1. 107.178.192.0/18（gae.googleusercontent.com）の範囲のＩＰアドレスから、同じ本の在庫を特定の地域の全書店について検索する一連のアクセスがその度違うＩＰアドレスから来ていることが解り、この範囲の全てのアクセスを恒久的にブロック。
2. 上記の他の大量アクセスは全て一つのＩＰアドレスであると判断できたので、１分間に同一IPアドレスから240回以上のアクセスがあった場合に該当IPアドレスからのアクセスを24時間ブロック。
3. 地図の画面から、一回の操作で検索できる店の数を50店に制限。

**2021年1月25日：**

1. gae.googleusercontent.comと同様な複数のＩＰアドレスを持つM247というレンタルサーバーからも同じ本の在庫を特定の地域の全書店について検索する一連のアクセスがあったのでこのアクセスを全て拒否。（deny from 37.120.210.0/24）
2. gae.googleusercontent.comと同様な複数のＩＰアドレスを持つbc.googleusercontent.comというレンタルサーバーからも同様なアクセスがあったのでこのアクセスを全て拒否。（deny from 37.120.210.0/24）
3. gae.googleusercontent.comと同様な複数のＩＰアドレスを持つカゴヤ・ジャパン株式会社というレンタルサーバーからも同様なアクセスがあったのでこのアクセスを全て拒否。（deny from 37.120.210.0/24）
4. ①地図のページ（kumiaimap\_utf8.htm）からの各店舗在庫検索アクセスと、②その他（店舗詳細ページ及び内部ＵＲＬへの直接アクセス）とをphpのセッション機能を使って区別可能にして、①からのアクセスについては２４０回／分、②については３０回／分に制限、これらの制限を越えた場合には該当ＩＰアドレスからは２４時間アクセス禁止。

**2021年1月26日：**

　1月25日の対策の結果、今度は各店舗詳細ページのアクセス数が激増したので、25日に対策に加えて③各店舗詳細ページからの各店舗在庫検索アクセスについても６０回／分に制限。

**2021年2日3日：**

　アクセス制限によりユーザーの１人から検索出来なくなったとのご指摘を事務局にいただき、再度アクセス制限の処理を見直した結果、上記1月25日の（４）の①、地図のページからのアクセスを区別する処理で一つのＩＰアドレス内に複数の端末が存在するケースを考慮しておらず、この為の修正を行った。

**2021年2月10日：**

　2月5日に上記対策を日販に連絡し、再度解放をお願いした結果、日販がアクセスを解放。

　たかが書店の店頭在庫を検索するのに、専門知識を習得してプログラムを組み、さらにはアクセスを止められるとすぐにプログラムを修正してまでの努力と執念を燃やしている人間が多人数いることに驚きを禁じ得なかった。ネット時代の世の動きを改めて実感させてくれる出来事であった。これからもこのいたちごっこが続くと思うとうんざりする。

また、書店再生支援財団から書店案内アプリ開発の為の補助金600万円が令和２年４月に青年部の口座に入金された。契約内容について小さい紆余曲折はあったものの９月１０日には株式会社ジェイピーとの間で開発料600万円（税込）にて契約書を調印し、正式に開発を依頼した。この支払については着手時に半金の300万円を、サービス正式開始後1カ月以内に残りの300万円を支払うこととなっている。また、完成後の権利に関しては下記の通りとなっている。

第4条（権利の帰属）

1. （所有権）本コンテンツ及び本コンテンツを実現する為に作成されたプログラム及びデータベース及び、本コンテンツを構成するあらゆる資源の所有権は６００万円（税込）分を甲、本コンテンツの開発に係った全費用から甲の所有分を除いた部分を乙が持つ。
2. （著作権１）本コンテンツの著作権は、甲乙共同で所有する。
3. （著作権２）本コンテンツを実現する為に作成されたプログラム及びデータベース及び、本コンテンツを構成するあらゆる資源の著作権は、乙が所有する。

（使用許諾）乙は甲に本コンテンツ及び本コンテンツを実現する為に作成されたプログラム及びデータベース及び、本コンテンツを構成するあらゆる資源（以下「本件ソフトウエア）という」の使用を許諾する。また、その際に対価は求めない。

計画では令和２年度末までに開発が終了するはずであったが、新型コロナウイルスの影響もあって遅れており、５月１０日現在では正常ケースについてほぼ作成が終わり、残るはデバック（テストと修正）と異常ケースのコーディング作業中であり、委員長の小川が基本的に週１回のリモート会議に出席して開発の進捗管理を行っている。

広告収入については今年も順調で、昨年広告掲載いただいていた１４社全てにご継続いただいき、280,000円の収入となった。(注)　アフィリエイト収入については、成約金額では4,497,570円（対前年65.4%）、収入では157,114円（対前年73.1%）となっている。これは9月１８日にｅ－ｈｏｎとのアフィリエイト契約が終了した為である。標準の通販サイトをHonyaClub等の別サイトに切り替えて青年部の収入を減らさないという選択肢もあったが、ユーザーの使い勝手を最優先し、現在も標準の通販サイトはｅ－ｈｏｎのままとしている。

（注）損益計算書では入金額で計上しており、ここでは請求額で計上している為40,000円のずれがある。

以下に昨年目標それぞれについて報告する。

1. ホームページの読者への広告

　本年度は特に広告らしいことは出来なかった上、日販ＨｏｎｙａＣｌｕｂの在庫検索アクセス遮断と、大量アクセス対策によるレスポンス低下でユーザーに悪い印象を与える要素があった。しかし、新型コロナウイルスによる本自体の需要の増加によって、年度前半のアクセス数が高まり、一度使った読者がリピーターとなって定着していて、アクセス数は鬼滅の刃流行前の人数程度となっている。

1. ホームページへの版元からのリンクを増やす

　今年度は新たにリンクしてくれた版元はなかった様であるが、リンクをしなくなった版元はなく、マイナスにはなっていない。

1. ホームページのへの各県組合からのリンクを促す

　今年度も各県組合にアクセスする機会がなかった。

1. 店内在庫を表示できる書店を増やす

令和３年２月、下記３店舗の在庫検索サイトがリニューアルされ、在庫検索ができなくなっていたものを修正した。

・未来屋書店　・大垣書店　・旭屋書店。

1. 書店案内の充実

今年度は写真等を新たに追加できた店舗はなかった。

1. 書店案内のメンテナンス

親会議事録中の組織委員会の報告と、業界紙の情報から店舗の情報は随時更新している。それにプラスして令和２年１１月２日時点のＪＰＯ書店共有マスターより開店・閉店の情報を反映。同時に、honto、TSUTAYA、HonyaClub、e-honの情報を用いて書店の営業時間等の情報を更新した。

令和３年３月からgooglemapのアクセス数が無料制限値を超えて３月32,923円、４月31,213円の使用料が引き落とされ始めた為、googlemapからフリーソフトのleaflet+国土地理院タイルを使用する様修正した。その結果５月の使用料については3,000円程度になる見込み。今後は地図のページでもこれを使用する様に変更してゆく。なお、この金額については判明が３月末だったので令和３年度の決済となる。

1. 広報機能を充実

　豊島支部主催で令和３年２月６日に開催予定だった講演会「カフカ、聖地降臨」についてホームページを使った告知を行った。但し、新型コロナウイルス感染防止の観点からこの講演会は延期となっている。また、「いーほん青年部」最新版についてもホームページから内容が見られる様にして告知した。

1. 改善資金の調達

昨年広告掲載いただいていた１４社全てにご継続いただいており、堅調に推移している。収入は1社につき20,000円／年いただいていて計280,000円で、半分の140,000円（注１）を技術指導料として近藤様にお支払いしたので、今年も継続してプログラムの修正をお願いしてゆく。

アフィリエイト収入については、成約金額では4,497,570円（対前年65.4%）、収入では157,114円（対前年73.1%）になっている。このうち、組合加盟店を辿って成約されたものが3,900,468円あり、青年部収入が117,226円、組合員への払い戻し予定額が116,182円となっている。Hontoと紀伊国屋のアフィリエイト率が1%になってしまった為に青年部収入とほぼ同じ払い戻しが発生している。今後Honto及び紀伊国屋とアフィリエイト率の交渉をするか丸善ジュンク堂、文教堂及び紀伊国屋だけ払戻し率の変更をするかを検討する必要がある。

ｅ－ｈｏｎ青年部店での販売は5,596円、収入は281円（注２）となっている。

（注１）決算書への記載は133,000となっているが、これは修正が間に合わなかった為。差額は来期決算に計上する。

(注２) 決算書への記載は0となっているが、これは修正が間に合わなかった為。差額は来期決算に計上する。

**２、店頭活性化委員会**

**〇店頭活性化企画**

1. Jリサーチ出版と報奨企画を実施報奨

対象商品Ｊリサーチ出版の書籍全点

1. 枻出版と報奨企画

民事再生により中止

1. いーほん青年部

青年部の各書店でおすすめの文庫を選書。専用帯で店頭展開。

**〇青年部推奨カレンダー販売**

毎年行っているクック＆ライフ社カレンダー販売実績、２０２０年度も減少。販売部数３２０部（前年４１５部７７．１％）、参加書店数７店（前年９店）、新規参加店０店。

カレンダーの内容は例年通り仔猫・仔犬・花。過去に実績のある店のみ継続している。今年度も非常に厳しい結果となった。参加店も減少し販売部数の減少も止まらないため今年度をもってカレンダーの販売を中止する事といたしました。

1. **書店再生委員会**

業界全体の雑誌の販売不振の中、街の書店の雑誌の定期取り置き、配達の販売継続効果を、業界にこれまで以上に訴え続けていく。また実質的な正味改定（書店利益の向上）への行動を継続してまいりました。小学館に街の書店の現状をご理解頂き、報奨金を得る仕組みを開始しているが、単年度のみでなく、今期も第3期として継続して行っていく契約を成立することが出来た。今後も雑誌については、定期（配達・取り置き）という書店あっての販売の重要性を訴え、他版元にも理解して頂き、この様な活動を今後も書店に実利のある形に大きく推進していきたい。

* 小学館からの雑誌定期・取り置き販売協力金は
* 今年度　　書店数　134店参加　　販売協力金　1,933,556円　を得た。

一般財団法人　全国書店再生支援財団との書店再生への取り組みにまずは業界全体を見据えたインフラの提案を行い、書店ＰＯＳシステムの書店負担の軽減化と業界全体のインフラ構築に参画し、今後もこの団体へは東京青年部が街の書店を代表し、街の書店の為の提案を継続していきたい。

1. **庶務委員会**

○青年部懇親レクリエ―ション

本年度は新型コロナウイルスの影響により見通しが立たなく、残念ながら中止になりました。

まだ新型コロナの収束の目途が立たないので難しいですが、来年度こそは是非開催したいと考えています。

○神保町ブックフェスティバル

　毎年１０月下旬～１１月上旬に開催される神保町ブックフェスティバルに参加予定でしたが、

本年度は新型コロナウイルスの影響により中止となりました。来年度に開催されれば、また参加したいと考えています。

1. **渉外　中小企業団体青年部協議会**
2. 東京都中小企業団体青年部協議会代表者会議に出席　令和2年6月１日（月）
3. 東京都中小企業団体青年部協議会第４２回通常総会　令和2年６月１7日（水）



令和３年度活動計画

令和３年　４月　１日から

令和４年　３月３１日まで

**Ⅰ　活動方針**

　新型コロナの影響により、立地条件によって書店の販売戦略は修正を余儀なくされている。書籍、雑誌の単価は値上げが行われているが、書店の粗利は据え置きで、経営環境は非常に厳しく、事業継承する価値を見いだすことが困難な状況が続いており、書店の減少に歯止めがかからない。東京でも既に駅前に本屋の無い町が増え、子どもたちが本を買うという行為を体験できる最後の砦であったコンビニすら雑誌類を販売する意義を見いだせない状況になってきている。そんな中、リアルな本を手にする機会が奪われ、電子書籍への移行が進んできている。我々東京都書店商業組合は『あなたは本屋のない町に住みたいですか？』というスローガンを掲げ、読者に訴え続けてきたが、既に相当の人々が本屋のない町で生活を送っているというのが実情である。紙の書籍の流通減少により、このままでは近い将来、図書館を販売対象として刊行する高額な書籍以外に紙で書物を発行することが困難になってしまう。

　活字離れと騒がれていても、本が好きな若者は確実に実在している。そんな若者たちが町の書店に価値を見いだし、書店の再生と、未来を担う一員に加わってもらうためにも、書店の利益の改善が図られなければこの業界に未来はない。引き続き、街の書店の存在意義を国民に訴えていく活動を行っていきたい。

こうしたことから、本年度は下記の取り組みを行っていく。

一）書店の存続に向けた意見の発信

二）本屋アプリの開発

三）若手人材の参加拡大

　本屋に人を誘導するスマートフォン向けアプリの開発に取り組み、町の本屋の存在感、利便性を再認識してもらうきっかけを作っていく。このアプリがＬＩＮＥのように、スマホに標準でインストールされ、AMAZON以上に支持を集められることを目標に、便利で魅力的なアプリとなるよう検討を行っていく。

　また、書店の存続のためには、若手が納得のいく方向で業界が改善されていかなければならない。そのためにも、青年部に若い人材に積極的に参加していただき、業界の活性化に様々な意見を集約、発信していかなければならない。非常に厳しい経営環境の中、人を出すということが非常に難しい状況であるのは重々承知の上で、是非とも会員に青年部に若い人材を送り出して頂き、活性化を図っていきたい。

**Ⅱ　活動計画**

1. 通常総会の開催

第３１回通常総会を開催する。

令和３年６月１１日（金）　書店組合３階会議室

1. 理事会・執行部会の開催

令和３年度理事会を３月を除く毎月1回行い、計11回行う。

1. 新年会、各種講演会・勉強会等（親会合同を含む）の開催
2. 書店側提案の各種店頭増売企画の推進
3. バスハイク等家族厚生企画懇親行事の開催
4. 東京都中小企業団体青年部協議会との交流
5. 各店舗に利益をもたらす企画
6. 青年部ホームページを使っての事業、インフラとしての充実
7. 本屋アプリシステムの開発
8. その他、書店に関わる事業

**Ⅲ　委員会活動**

1. **ＮＥＴ店頭連動委員会**

ホームページの改善など情報化に関する以下の活動を通じて店頭に顧客を呼び込む活動を行う。

**・書店案内アプリの開発**

令和２年度に工完できなかった「書店案内アプリ」をリリースする。実用性を高めるアナログ在庫問い合わせ機能の他に、読者を引き付ける魅力あるコンテンツを掲載し、より強力にネットからリアル店舗に読者を誘導する仕組みを造り上げる。

**・ホームページの読者への広告**

書店案内アプリのリリース後、下記の広告を行い、ホームページを通じて読者に全ての書店の存在を確実にお伝えし、迷わず目的の本と巡り合える環境をご提供する。また、これによりアクセス数を集めてホームページ自体のメディアとしての力も同時に強化する。

* 業界新聞、新聞、ＴＶ、関連ネット記事、ネット情報雑誌、ビジネス情報雑誌に記事を掲載していただく様プレスリリースを発信する。
* 書店組合主催で版元や書評サイト、読書ブロガー対象の説明会を開催。
* 書店店頭でお客様にアピールするちらし等を作成して配布。

**・ホームページへの版元からのリンクを増やす**

書店案内アプリのリリース後、版元とその団体等を対象にした説明会を開催し、版元ホームページからのリンクをお願いし、それを起点にネット書店に流れている注文を青年部ホームページに誘導し、そこから店頭へと誘導する様にする。どうしても店頭で本を受け取ることが出来ない忙しい読者には青年部が選んだネット書店にリンクを張り、そのネット書店に誘導する様にする。また、これによりアクセス数を集めてホームページ自体のメディアとしての力も同時に強化する。

**・ホームページへの各県組合からのリンクを促す**

最初に表示する位置を各道府県の県庁所在地にすることにより他道府県組合のホームページ内で自組合の地図として活用できる様になるので、これを利用して他道府県組合のホームページと連動できる様にする。これは新規にリリースする書店案内アプリでも同様で、初期画面はＧＰＳによって現在地になるのでその位置の道府県組合の地図として活用が可能である。

令和３年度も引き続き一都三県との連動を目指す。

**・店内在庫を表示できる書店を増やす**

雑誌の在庫がわかる書店は現在１店舗だけである。あえて書籍の在庫を開示せずに雑誌だけを開示することも可能なので、これを積極的に増やしてゆく。なお、組合非加盟店の存在や在庫も開示して該当店へのサービスを提供している。今年度もこれらの店に組合加盟を促してゆく。

また、書店案内アプリでは雑誌についての書店の側では何のシステムも導入せずにネットからの在庫問い合わせに応答することが可能で、読者は雑誌の店内在庫がネットを通して得られる様になる。これは日本初の試みであり、爆発的な人気となる可能性を秘めている。令和３年度はこの活用を積極的に促して行く。

**・書店案内の充実**

休日未登録店や店頭写真、店主写真がない書店が存在する。これらがなくなる様引き続き作業を行う。

**・書店案内のメンテナンス**

書店の新規開店、閉店、営業時間・休日の変更等常時書店情報のメンテナンスを行う。

**・広報機能を充実**

ホームページを利用して「豊島支部作家講演会」「いーほん青年部」「読者謝恩図書カード」や「書店くじ」等の企画を積極的に宣伝し、店頭への来店客の増加につなげる。

**・改善資金の調達**

　東京都中小企業団体中央会が斡旋し、東京都で行っている「中小企業新戦略支援事業（団体向け）」の特別支援「新しい日常対応型業界活性化プロジェクト」へ応募し、資金調達を試みる。このプロジェクトの予算は5000万円の資金調達が可能となる。

また、版元やその他企業からの広告を引き続き募集する、また、宅配機能についても読者及び書店客注での利用の広告を行い、収益事業としてさらに展開してゆく。

1. **店頭活性化委員会**

**〇店頭活性化企画**

・　いーほん青年部

おすすめの文庫を専用帯で展開。展開している書店では販売実績が出ている。引き続き参加書店を増やし展開していく。

・　報奨企画

Jリサーチ出版などは毎年恒例となり販売実績、報奨金共に大きな企画となっている。

スケールを生かし、出版社様にも協力をいただき、年間通しての企画を増やしていきたい。

また、今年度よりカレンダー販売は中止となりました。

1. **書店再生委員会**

まずは昨年度より活動をしている特に正味問題（書店利益向上）に本年度も大きく関わって行きたい。また、町の書店の経営の環境改善に向けた取り組みを待ったなしで活動していく。

・雑誌・書籍も含めた正味改定（実利）の更なる推進

・東京組合と一体となり、POSを推進し、参加組合員のみの報奨企画を提案したい。

・業界各団体との会話をする場を多く設ける

・業界の仕組みに取り入れられている現在の書店のコスト負担（物流・システム・情報・データ活用等）の軽減について検証する。

・新事業（利益向上・経営改善を得る新事業）への展開を模索し、他業界・他業種の店頭展開の施策を提案したい。

**(エ)庶務委員会**

**○神保町ブックフェスティバル**

　まだ開催されるか決まっておりませんが、出店を希望。書店にとってメリットのある企画を行い、書店組合という組織をたくさんの方にアピールしていきたい。

**○リクレーション**

　新型コロナの影響で今後の見通しが立たないが、感染予防症対策を十分に行ったうえで、　会員相互の親睦が深まる楽しい企画を一回実施する。

